

ServiceNow
Certified Implementation Specialist
– Vulnerability Response
試験仕様書

San Diego リリース – 2022 年 3 月 30 日更新

はじめに

この ServiceNow Certified Implementation Specialist – Vulnerability Response 試験仕様は、試験の目的、対象者、テストオプション、試験内容と範囲、試験の枠組みに加えて、Certified Implementation Specialist – Vulnerability Response の認定を得るための前提条件を定めたものです。

試験の目的

Certified Implementation Specialist – Vulnerability Response 試験は、ServiceNow Vulnerability Response 実装の構成、実装、メンテナンスに役立つスキルと重要な知識を合格者が備えていることを認定するものです。

試験対象者

ServiceNow Certified Implementation Specialist – Vulnerability Response 試験は、ServiceNow のお客様、パートナー、従業員のほかに、ServiceNow Certified Implementation Specialist – Vulnerability Response となることに興味のある方を対象としています。

試験準備

試験の問題は、公式の ServiceNow トレーニング教材、[ServiceNow Vulnerability Response - ServiceNow ドキュメント](#) サイト、ServiceNow 開発者サイトに基づいています。オンラインで公開されているその他の学習教材は公式ではなく、試験準備用としては推奨されません。

ServiceNow トレーニングパスの前提条件

ServiceNow Certified Implementation Specialist – Vulnerability Response 試験の準備として、以下の前提トレーニングコースを完了する必要があります。以下の ServiceNow トレーニングコースで提供される情報には、試験のソース資料が含まれています。

- Security Operations Fundamentals
- Vulnerability Response Implementation

[Now Learning](#) の CIS-VR の認定パスを参照してください。

Vulnerability Response Implementation コースを完了すると、Certified Implementation Specialist – Vulnerability Response 試験に登録するためのバウチャーコード (譲渡不可) を[取得または購入](#)する資格が得られます。

推奨される知識および教育

試験の準備として、以下のトレーニングコースの完了と認定の取得を推奨します。

- ServiceNow Fundamentals
- ServiceNow Platform Implementation
- Automated Test Framework Fundamentals
- Flow Designer Essentials
- IntegrationHub Essentials
- Mobile Development Essentials
- Service Portal Fundamentals
- Common Service Data Model Fundamentals
- Configuration Management Database Fundamentals
- Now Experience UI Builder Fundamentals
- Configuration Compliance Essentials
- What's New in the Store for Security Operations

その他のリソース

上記に加えて、以下の追加リソースが試験準備に役立つ場合があります。

- [Candidate Journey Guide](#) – 認定プロセス全体をガイドするリソース
- San Diego Security Operations ドキュメント
- San Diego Vulnerability Response ドキュメント
- Security Operations Community Forum

推奨されるその他の経験

- ServiceNow Vulnerability Response 展開プロジェクトまたは ServiceNow インスタンスでの Vulnerability Response アプリケーションスイートのメンテナンスに参加した 3～6 か月間の現場体験
- 業界の用語、略語、頭文字語についての一般的な知識

試験範囲

試験の内容は、重要なトピックと ServiceNow 実装中に行うアクティビティに対応する学習分野ごとに分かれています。それぞれの学習分野において、具体的な学習目標が示され、試験内でテストされます。

以下の表に、この試験で評価される学習分野、重み付け、サブトピックと、各分野の問題が占める割合 (%) を示します。記載したサブスキルは試験内容に含まれますが、これらに限定されるわけではありません。

	学習分野	試験における割合 (%)
1	Vulnerability Response アプリケーションおよびモジュール <ul style="list-style-type: none"> ServiceNow Security Operations について 脆弱性対応について ServiceNow プラットフォームの Vulnerability Response 	20 %
2	Vulnerability Response へのデータの取り込み <ul style="list-style-type: none"> 脆弱性および脆弱性一致アイテムの定義 脆弱性スキャナーおよびその他のデータソースの統合 	25 %
3	Vulnerability Response の管理ツール <ul style="list-style-type: none"> 脆弱性ワークスペース 分類ルール、アサインルール、修復タスクルール 修正ターゲットルール、脆弱性算出 	20 %
4	Vulnerability Response の自動化 <ul style="list-style-type: none"> 脆弱性の例外処理 ワークフローを使用したプロセスの自動化 	20 %
5	Application Vulnerability Response <ul style="list-style-type: none"> Application Vulnerability Response の理解 Veracode データ連携 	8%
6	Vulnerability Response データのチャート化 <ul style="list-style-type: none"> データのチャート化の概要：ダッシュボードとレポート Performance Analytics 	7 %
合計		100 %

試験の登録

ServiceNow は、Webassessor プラットフォームを使用して試験の登録を行う Kryterion と提携しています。メインライン試験は、Kryterion のテストセンターまたはオンライン (Kryterion の監督者が試験予約を監視する) で受けることができます。

試験に登録するには、Webassessor アカウントを作成し、自分の Now Learning アカウントにリンクする必要があります。

ServiceNow は、障害のある方または英語を第 2 言語とする方 (ESL) のために、資格試験の受験期間中に合理的な配慮を行います。

注：特別な設備を用意した試験を提供しています。詳細については、certification@servicenow.com までお問い合わせください。設備の種類によっては、試験まで 30 日間のリードタイムをいただく場合があります。

試験の構成

この試験は 45 問の問題で構成されています。

複数の選択肢 (解答は 1 つ)

複数の選択肢がある問題では、4 つ以上の解答候補が提示されます。受験者は解答の選択肢を確認して、問題の解答として最も正しいものを選択します。

複数選択式問題 (該当するものをすべて選択)

複数の解答を選択する問題では、4 つ以上の解答候補が提示されます。解答をいくつ選択すればよいかは、問題に記載されています。受験者は解答の選択肢を確認して、問題の解答として正しいものをすべて選択します。部分点は与えられません。

試験結果

試験を完了して送信すると、すぐに合否結果が計算されて表示されます。

受験者へのより詳しい結果の提供は行われません。

再受験

不合格だった場合、バウチャーがなくても再受験できます。Webassessor で試験の登録と支払いを行います。詳細については、[『Candidate Journey Guide』の「試験の管理ポリシー > 再試験」](#)を参照してください。

例題

例題 1: Vulnerability Response 機能とは何か？

該当するものをすべて選択せよ。

- A. National Vulnerability Database (NVD) との統合
- B. さまざまなサードパーティスキャナーと統合し、脆弱性データを ServiceNow プラットフォームに取り込む
- C. Security Information and Event Management (SIEM) システムとの統合
- D. 脅威インテリジェンスの自動化によるインシデントの拡張

正解：A、B

例題 2：メインの XML 脆弱性フィードでは、_____ 識別子の最初の 4 桁で構成される _____ データが提供されます。

- A. 一般的な脆弱性とエクスポージャー (CVE)
- B. 一般的な脆弱性の列挙 (CWE)
- C. 脆弱性情報データベース (NVD)
- D. 第三者データ連携

正解 : A、C

例題3 : IT 修復ワークスペースにアクセスできるのはどのロールを持つユーザーか？

- A. ITIL
- B. sn_si.admin
- C. sn_vul.vulnerability_analyst
- D. sn_vul.Remediation_owner

正解 : D

例題4 : ServiceNow GRC に統合されるのは、Vulnerability Response のどの機能か？

- A. 誤検出管理
- B. 脆弱性例外管理
- C. 修復タスク
- D. 監視トピック

正解 : B

例題5 : 開発グループとセキュリティマネージャーの間の連絡係として機能するのは、Application Vulnerability Response のどのペルソナか？

- A. CISO
- B. アプリセキュリティマネージャー
- C. 開発者
- D. セキュリティチャンピオン

正解 : D

例題6 : CISO が組織に期待するデータの視覚化のタイプはどれか？

該当するものをすべて選択せよ。

- A. 概要が必要
- B. 組織の健全性と機能を明確に示す単一のインジケータ
- C. 最新のビューが必要
- D. 詳細データへのドリルダウンが必要

正解 : A、B

詳細情報

www.servicenow.com

